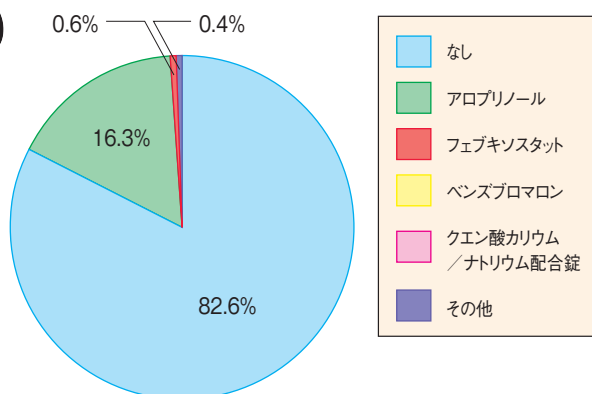


5) 尿酸関連調査

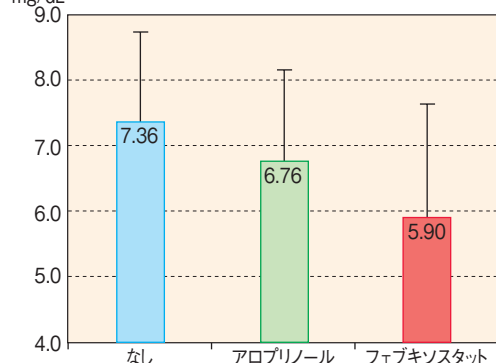
(3) 高尿酸血症治療薬の使用状況、痛風発作の既往 (図表50)



高尿酸血症治療薬の使用率



高尿酸血症治療薬使用と尿酸値 (平均値)

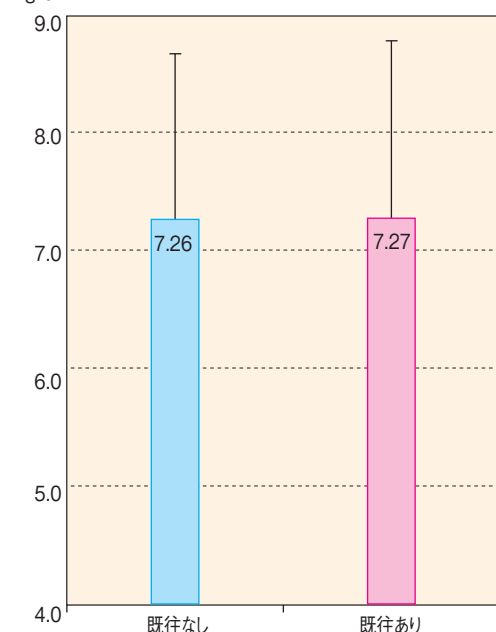


高尿酸血症治療薬使用率と尿酸値

	なし	アロプリノール	フェブキソスタット	ベンズブロマロン	クエン酸カリウム/ナトリウム配合錠	その他	合計	不明	記載なし	総計
人数 (%)	193,617 (82.6)	38,228 (16.3)	1,349 (0.6)	113 (0.0)	66 (0.0)	931 (0.4)	234,304 (100.0)	3,115	57,400	294,819
尿酸平均値	7.36	6.76	5.90	7.48	7.12	6.66	7.25	7.15	7.24	7.25
標準偏差	1.38	1.39	1.74	1.42	1.40	1.39	1.41	1.46	1.42	1.41

数値下のかっこ内は行方向の合計に対する%です。

痛風発作既往の有無別尿酸値 (平均値)



痛風発作既往の有無別尿酸値

透析前尿酸値 (mg/dL)	既往なし	既往あり	合計	不明	記載なし	総計
3未満	480 (96.4)	18 (3.6)	498 (100.0)	27	88	613
3~	1,420 (95.0)	74 (5.0)	1,494 (100.0)	122	246	1,862
4~	6,653 (95.2)	335 (4.8)	6,988 (100.0)	491	1,128	8,607
5~	24,082 (95.6)	1,106 (4.4)	25,188 (100.0)	1,624	3,940	30,752
6~	52,720 (96.3)	2,043 (3.7)	54,763 (100.0)	2,996	8,474	66,233
7~	59,696 (96.3)	2,293 (3.7)	61,989 (100.0)	3,252	9,086	74,327
8~	37,677 (96.1)	1,531 (3.9)	39,208 (100.0)	2,012	5,688	46,908
9~	15,242 (95.6)	706 (4.4)	15,948 (100.0)	783	2,257	18,988
10~	6,541 (95.0)	342 (5.0)	6,883 (100.0)	368	995	8,246
合計	204,511 (96.0)	8,448 (4.0)	212,959 (100.0)	11,675	31,902	256,536
記載なし	4,909 (97.0)	152 (3.0)	5,061 (100.0)	469	32,753	38,283
総計	209,420 (96.1)	8,600 (3.9)	218,020 (100.0)	12,144	64,655	294,819
平均	7.26	7.27	7.26	7.15	7.21	7.25
標準偏差	1.40	1.50	1.41	1.45	1.41	1.41

数値下のかっこ内は行方向の合計に対する%です。

患者調査による集計

解説

高尿酸血症治療薬との関連について検討した。クエン酸カリウム/ナトリウム配合錠は尿酸降下薬ではないが、広い意味での高尿酸血症治療薬として集計に含めた。

高尿酸血症治療薬は全体の約17%に使用されていた。アロプリノールが最も多く16.3%であり、最近使用可能となったフェブキソスタットは0.6%であった。ベンズブロマロン、クエン酸カリウム/ナトリウム配合錠の使用は極少数であり、以下薬剤別の集計からは除外した。高尿酸血症治療薬別の尿酸値をみると、投与なしが7.36mg/dLに対し、アロプリノール投与群は6.76mg/dLと低く、フェブキソスタット投与群は5.90mg/dLとさらに低値であった。フェブキソスタットはまだ投与例が少なく、今後の動向をみる必要があると思われる。

痛風発作の既往は全体の3.9%にみられたが、既往の有無による尿酸値の明らかな差異は認めなかった。